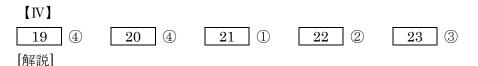


日本大学医学部 N方式(2期) 英語

2025年 3月 4日実施

[]
$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
[解説]
1 The number (S) (1)(V)から 2 or 4。また, since から完了形を使う。
2 知覚動詞の語法。hear O C (to do 不可)
3 however 形容詞 / 副詞 SV [≒no matter how 形容詞 / 副詞 SV]
4 deny doing 「do したことを否定する」
5 than があるから比較表現。比較の強調は much / far / a lot など。③は文構造が破綻。
6 前置詞+関係詞の形。Online までで文構造が完成しているため、それ以降は M と判
断。関係詞だと分かる。…,that は不可。なお、③は and two of them なら正解だが、今回
は不適。
7 0 8 4 9 2 10 2 11 3 12 2
[7] 「少数の~,わずかな~」は、a small number of~。よって、①small が正解
8 「留学することについての許可」ということで、④permission が正解。
9 「~に反対する」という他動詞は、②opposeであり、目的語を直接にとれる。③の
自動詞 object を使うなら object to ~ の形にしなければならない。
10 be informed about~で「~について熟知している」であり、②informed が正解。
11 be yet to do で「まだ~していない」であり、③yet が正解。
<u>12</u> owe $O_1 O_2$ で「 O_1 に O_2 の借りがある」であり、②owe が正解。
$\begin{bmatrix} 13 & 4 & 14 & 2 & 15 & 1 & 16 & 4 & 17 & 4 & 18 & 2 \\ \begin{bmatrix} 4\pi & \pm \pi \end{bmatrix}$
13 cope with ~ 「~に対処する」 (=deal with ~)。
14 stand for ~ 「~を表す,象徴する」。
15 set out on ~「(目標を持って) ~を始める」。
16 before long $[\ddagger b \ddagger $
17 in charge of ~ 「~担当の」
<u>18</u> give rise to ~「(主に好ましくない状況・事など)を引き起こす」



19 直前の文で,睡眠中は完全に頭がオフであり,起床すると on に切り替わると述べられているので,④「事実」そのように深い眠りにつく人もいるという順接の表現が適切。

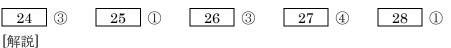
20 人生の転換点やストレスを感じるような時もあり、そのようなときには、精神活動 は一晩中④「続いている」ようだという文脈。

21 夢はそもそも起きていなければ、思い出すことができないという文脈から、夢の記 憶は一般に①「乏しい」ものだとなるのが適切。

22 「怒り,不安,恐怖」といった感情が列挙されているから,それらは②「嫌な」感情である。

23 夢と外部からの刺激は必ずしも関係ないという文脈から、そのような刺激が睡眠中の脳に③「たとえあるとしても」夢はそれによって左右されない、となる。





24 第2段落2~4行目に合致。第2段落3行目(discovered that it's true ~ plants... に着目。It は2行目の those vibrations become sound waves の内容)

25 第4段落1~3行目に合致。ちなみに,選択肢②④は「人間は植物の出す音を聞けない」ため不適。

<u>26</u> 第6段落2行目に合致。ちなみに,選択肢①は, not any が不適。②は, only a few が不適。さらに,④は比較していない。

27 第8段落3~5行目に合致。①は、主体と客体が逆。②は「音を出すことを目的に 利用などしていない、つまり、そこに意図など存在しない」③は、「ピーク時には、音は止 まる」ため不適。

28 第 10 段落 3~4 行目に合致するものを選べばよい。

(VI)

29 3	30 2	31 ④	32 2	33 ①
------	------	------	------	------

[解説]

29 James の2番目のメッセージに almost home とあるのが手がかりとなる。よって、 ③が正解。

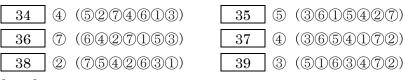
<u>30</u> Amandaの最後の発言で, Jamesの中華料理店に行こうという提案に Sounds good. と応答しているので,中華料理店に行くと予想される。よって,②が正解。

31 上のお知らせの第1文で、南口が閉鎖されると述べられており、④が正解。

32 下のお知らせを総合すると、目的は駅の利便性を高めるためと考えられるので、② が正解。

33 下のお知らせの最初の箇条書きの項目で,現在は北口に1機エレベーターがあるの みであり,南口に増設予定だと述べられており,そのことからすると,①が正解であると判 断できる。

(VII)



[解説]

34 (After much thought,) he has decided <u>not</u> to purchase the car (.)

decided toV「~しようと決心する」の否定,decide not toV「~しないよう決意する」の形。

35 (There is) a long history of gold <u>being</u> used as currency (.)

ここでの gold は,動名詞句 being used as currency に対する意味上の主語として機能して いる。

36 (You should) know better than <u>to</u> cause trouble for (others.)

know better than toV「~するほど愚かではない、~しないくらいの分別がある」は頻出表現。

37 (... give specific instructions) on how things <u>are</u> to be done (.)

ここでの on 「~に関して」の意。things <u>are to</u> be done は,義務を表す be to 不定詞と考え ればよい。

38 (I hope to get tickets) at as reasonable <u>a</u> price as you did (.)

副詞 as / so / too / how は, このように〈副詞+形容詞+a(n)+名詞〉の語順を導くことに 注意する。

<u>39</u> Wearing a helmet can keep <u>your head</u> from getting injured (while riding a bicycle.) keep [prevent] O from V-ing「O が~することを妨げる,防ぐ」は超重要語法。

【 VⅢ 】

41 2 (43251)
43 2 (45213)
45 (25431)

[解説]

40 (It is) not only <u>an</u> individual's diet that (influences the risk ...)

It is ~ that ... は強調構文の骨組み。

41 (... this) influences her ability <u>to</u> transfer nutrients (to the foetus ...)

transfer A to B で「A を B へと移し替える」。

42 (Barker also found that) if underweight <u>babies</u> rapidly gain weight (after the age ...)

underweight, weight と似た語が2つもあって紛らわしいかもしれないが,前者は形容詞, 後者は名詞であることから判断する。

43 (But there) is also another <u>mechanism</u> that has been (uncovered ...) there 構文。

44 (... programmed in) such a <u>way</u> as to (increase its susceptibility ...) in such a way as toV「~するようなやり方で」。

45 Babies born <u>to</u> mothers who (were undernourished ...)

born は過去分詞であるから, born to mothers ... で一つの形容詞句として機能でき,これ が babies を後置修飾する構造となる。空所後ろは were undernourished in the first three months of <u>pregnancy</u> とあることから,これが mothers のことを言っているのは明白で, 関係代名詞 who を mothers へつなげるように並べればよい。

【総評】

問題構成・出題形式ともに例年とほぼ同一であった。唯一,大問VIの会話文問題が今風のテ キストメッセージからの出題となったが,問いそのものは平易であり特にうろたえるよう なものではなかった。医学部A方式の廃止以来,分量・難易度ともに大幅に低減しており, 引き続き高得点域での戦いとなることが予想される。医学部受験生ならば75~80%以上は 確保したいところ。

なお、二次での筆記試験では、従来の A 方式に準ずる形の長文問題が 3 本出題されるのが 例年のスタイルである。一次通過者は、旧 A 方式の過去問演習をしておくことが有効であ ろう。

